



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2892 URL <https://www.nisshoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野瀬 励  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長 (氏名) 山本 明弘 TEL 0545-52-3181  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,782	△8.9	85	△79.7	46	△91.2	27	△92.6
2019年3月期第1四半期	12,930	△2.1	420	△18.4	531	△4.0	370	△6.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.61	—
2019年3月期第1四半期	75.38	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,208	18,433	50.9
2019年3月期	34,321	18,586	54.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 18,433百万円 2019年3月期 18,586百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△4.2	50	82.6	300	△24.6	250	△11.9	50.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	6,400,000株	2019年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,481,115株	2019年3月期	1,481,095株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,918,889株	2019年3月期1Q	4,918,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な設備投資や好調な海外経済を背景に企業収益や雇用、所得環境の改善が進み緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の激化や中東の地政学リスクの高まりにより先行きについては不透明な状況で推移しました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初361セント/ブッシェル台で始まり、米国の降雨の影響による作付遅延から435セント/ブッシェル台となりましたが、6月末に発表された作付面積が市場予想を上回ったことから値を下げ、第1四半期平均では392セント/ブッシェル台となりました。

また、原油相場は期初61ドル/バレル台で始まり、米国のイラン制裁による中東の地政学リスクの悪化から、63ドル/バレル台となりましたが、世界の原油需要減退懸念等から値を下げ、第1四半期平均では59ドル/バレル台となりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は、期初から大きな変動はなく51ドル/トン近辺で推移しました。

為替相場は、期初112円/ドル台で始まりましたが、米中貿易摩擦の激化懸念や、香港での大規模な抗議デモの発生及びホルムズ海峡でのタンカー襲撃による中東での地政学リスクの悪化等から円高が進み、第1四半期平均では110円/ドル台となりました。

このような状況のもと、当社は生産効率の改善、製品在庫水準の適正化及び各種コスト削減に継続的に取り組むとともに、前期に引き続き付加価値製品の拡販に注力しました。

販売面では、4月以降天候に恵まれ昨年よりも高い気温となりましたが、改元と重なった大型連休の需要取込が前期末から前倒しで始まったことに加え、大型連休前後の物流制限による影響を受け、更に連休明けの反動もあり、第三のビール及び清涼飲料市場向け糖化製品の販売数量は減少しました。また、澱粉製品についても、加工食品向け澱粉製品が堅調に推移したものの、製紙向け澱粉製品は製紙メーカーの生産調整により需要が減退し出荷が低調に推移したことから、澱粉製品全体の販売数量は減少しました。

さらに、企業間競争激化は引き続き激しく、収益面についても厳しい状況となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は117億8千万円となり、前年同期比11億4千万円(8.9%)の減収、営業利益は8千万円と前年同期比3億3千万円(79.7%)の減益、経常利益は4千万円と前年同期比4億8千万円(91.2%)の減益、四半期純利益は2千万円と前年同期比3億4千万円(92.6%)の減益となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

## (澱粉部門)

澱粉部門は、製紙向け澱粉製品の出荷が振るわず販売数量が減少したことにより、売上高は27億円と前年同期比3億3千万円(11.1%)の減収となりました。

## (糖化品部門)

糖化品部門は、第三のビール及び清涼飲料向け糖化製品の出荷が振るわず販売数量が減少したことにより、売上高は74億4千万円と前年同期比5億円(6.4%)の減収となりました。

## (ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、ほぼ前年並みの推移となり、売上高は4億4千万円と前年同期比5百万円(1.3%)の減収となりました。

## (副産物部門)

副産物部門は、配合飼料の値下げの影響により販売単価が下落したことに加え、主製品の販売減少により副産物の発生量が減少し販売数量が減少したことにより、売上高は11億8千万円と前年同期比2億9千万円(19.9%)の減収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は362億円となり、前事業年度末と比較して18億8千万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金が13億6千万円、商品及び製品が4億5千万円増加したこと等によるものです。また、負債については、前事業年度末と比較して20億3千万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金が5億6千万円減少したものの、借入金(純額)が21億4千万円、買掛金が5億1千万円増加したこと等によるものです。

なお、純資産は184億3千万円となり、自己資本比率は前事業年度末と比較して3.2ポイント減少し、50.9%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	227	663
売掛金	11,037	12,402
電子記録債権	96	106
商品及び製品	3,257	3,708
仕掛品	2,150	1,884
原材料及び貯蔵品	2,965	3,028
その他	461	408
流動資産合計	20,196	22,203
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,768	2,942
構築物	440	438
機械及び装置	5,709	5,534
車両運搬具	9	7
工具、器具及び備品	230	235
土地	1,862	1,862
リース資産	62	59
建設仮勘定	451	316
有形固定資産合計	11,535	11,396
無形固定資産		
借地権	45	45
ソフトウェア	257	286
その他	58	54
無形固定資産合計	361	386
投資その他の資産		
投資有価証券	301	289
関係会社株式	371	371
繰延税金資産	1,379	1,387
その他	178	178
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	2,227	2,221
固定資産合計	14,124	14,004
資産合計	34,321	36,208

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,253	1,766
短期借入金	3,429	5,574
未払金	3,630	3,153
未払法人税等	5	—
賞与引当金	748	180
役員賞与引当金	21	4
資産除去債務	38	38
その他	60	433
流動負債合計	9,188	11,151
固定負債		
長期借入金	2,400	2,400
退職給付引当金	3,912	3,986
環境対策引当金	47	47
資産除去債務	158	158
その他	28	30
固定負債合計	6,546	6,622
負債合計	15,734	17,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金		
資本準備金	327	327
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	327	327
利益剰余金		
利益準備金	400	400
その他利益剰余金		
建物圧縮積立金	165	162
構築物圧縮積立金	0	0
機械装置圧縮積立金	0	0
土地圧縮積立金	113	113
別途積立金	7,000	7,000
繰越利益剰余金	11,071	10,979
利益剰余金合計	18,750	18,655
自己株式	△2,147	△2,147
株主資本合計	18,531	18,435
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56	47
繰延ヘッジ損益	△1	△49
評価・換算差額等合計	55	△1
純資産合計	18,586	18,433
負債純資産合計	34,321	36,208

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,930	11,782
売上原価	10,354	9,740
売上総利益	2,576	2,041
販売費及び一般管理費	2,155	1,956
営業利益	420	85
営業外収益		
受取配当金	39	2
為替差益	49	—
受取ロイヤリティー	15	19
その他	23	7
営業外収益合計	128	29
営業外費用		
支払利息	13	7
固定資産除却損	2	15
為替差損	—	40
その他	2	3
営業外費用合計	17	68
経常利益	531	46
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
税引前四半期純利益	531	47
法人税、住民税及び事業税	61	2
法人税等調整額	99	16
法人税等合計	160	19
四半期純利益	370	27

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。